



集

和漢聯句



旅衣あらうと息ハ急うれく 能重

卷_下雲_ラ行_一袖_一輕_ニ 妙讓

一_一筇_一千_一萬_一里 竺山

短_一笛_一兩_一三_一聲 晦谷

秋のあはまきしん老よりきりー 廣秀

莎_一砌_ニ雙_一蟲_一咽_ラ 無極

松_一梢_ニ孤_一鶴_一翹_ル 青山

瓢_一飲_一生_一涯_一足_ニ 極溪

凡のまを松と竹よ吹うへく 廣秀

晴_一欄_ニ僧_一晒_レ背_ラ 鑑翁

陋_一巷_ニ我_一安_レ身_ラ 有範

絃_一歌_一壯_一節_一高_ニ 晦谷

消_レ閑_ラ興_一有_レ餘_リ 妙讓

珠_一璣_一隨_レ咳_ニ落 竺山

錦_一綉_一為_レ文_ラ裁_ス 無極

風一鐵時一々語

竺山

水一車處一々鳴

有範

世一平民讓一畔

無極

路一遠客思一家

乾峯

縮一^之地多^ク無^レ術

竺山

延^レ年可^レ有^レ方

鑑翁

閑^レ竹山一心をかくさえて

夢窓

りふ^レく^レく^レを^レ松^ノ凡^ノ乃^ノ吉

師直

あ^レま^レく^レう^レ一^レ橋^ハあ^レより

廣秀

法の^レん^レよ^レ人^をま^まん

夢窓

古一渡舟何^ノ在^ル

有範

修一途馬^ノ巨^レ前^ニ

無極

あ^レま^レく^レく^レ山^ノや^レあ^レん

夢窓

ゆ^レく^レや^レま^レん^レあ^レり^レ此^ノ冥

夢窓

月^もて^レ亦^ノの下^をく^レく^レは^レま

有範

忘^レる^レは^レゆ^レま^レく^レく^レあ^レん

廣秀

禪一人^ハ從^レ定立^ッ

竺山

騷一客練^テ詩^ヲ吟^ス

無極

梅_ノ花_ノ香_ノ 夢窓

冬_ノ雪_ノ 廣秀

聲_ノ出_ル 能重

風_ノ響_ノ 普明

天_ノ幕_ノ 乾峯

虹_ノ外_ノ 竺山

夕_ノ夢窓

之_ノ妙讓

秋_ノ機 龍湫

吳_ノ冷_ノ 竺山

胡_ノ深_ノ 有範

あ_ノ廣秀

こ_ノ妙讓

破_ノ有範

披_ノ僧 乾峯

忘_ノ方外

彈_ノ遷

くふ又あをれこのふしぬぬ池 夢窓

幾^{クニカ}看^ル滄^シ海^ノ枯^レ 竺山

鹿^ノ子^ノを^レい^フく^ニも^シ思^ハん^ノ心^ノえ 廣秀

交^ハ言^フ須^レ有^ル信 有範

德^ノ行^ハ豈^ニ無^ク仁 古先

民^ノ草^ノ仰^ク天^ノ澤^ヲ 普明

士^ノ林^ノ歸^ル國^ノ風^ヲ 青山

まにあふ色うよ花も物わらん 夢窓

烟^ノ開^テ柳^ノ展^レ眉^ヲ 晦谷

醉^テ患^フ嘖^レ蹙^テ事^ヲ

老^テ作^ス退^レ藏^ヲ謀^ヲ

種^ノ豆^ヲ屋^ノ餘^レ地^ヲ 方外

外面乃小印よひも糸うらむ 夢窓

鉢^ニ貯^フ天^ノ香^ノ飯^ヲ 竺山

壁^ニ遺^ス魯^ノ古^ノ書^ヲ 青山

蝸^ノ延^ス之^ノ字^ノ點^ス 乾峯

蛇^ノ影^ヲ角^ノ弓^ノ沈^ム 鑑翁

夢想之和漢

永祿十一年
臘月廿五日

凡そやあつる此屋の雪

さきさきとてふまふ此月 紹巴

春自梅隣早 策彦

霞於杏巷流 同

小巾如雪河津とてまふあはれ 巴

雨のふれまはれ此神のなり 同

吟節探好景 彦

敗扇感初秋 同

樵暮倦檐月

彦

民秋憶佐州

同

清朝恩幾露

同

直道命其郵

同

あまの宮とやまされまじりて

巴

あまの宮とやまされまじりて

同

あまの宮とやまされまじりて

同

風暖釣船浮

彦

かまひりてはむしりてはむしりて

巴

胡蝶の家はまじりて

同

花よゆきん

同

野不隔宸遊

彦

邊月無私照

同

商飈奈旅愁

同

かまひりてはむしりてはむしりて

巴

うきもあまの宮とやまされまじりて

同

情多迷乱緒

彦

卧穩失更籌

同

あつしほのまいたるつゆの流

巴

ちりあつしほのまいたるつゆの流

同

うけにしほのまいたるつゆの流

同

こゆらにほのまいたるつゆの流

同

蚤燈知遠浦

彦

軍幕割洪溝

同

天下赤霄漢

同

疆封蒼錄周

同

餘寒龜嶺手

同

三

韶景蠶梢頭

同

あつしほのまいたるつゆの流

巴

うけにしほのまいたるつゆの流

同

林缺秋鷹下

彦

うけにしほのまいたるつゆの流

巴

かよるあつしほのまいたるつゆの流

同

ゆい向らるるの小車

同

あつしほのまいたるつゆの流

同

老抛耕鏡休

彦

願春遲薄官カキマ 同

夕トキ 巴

早イツカ 晚入般舟ニ 同

潮漲波砂岸ニ 同

根ニ 同

吹ニ 同

月ニ 從猿叫落ツ 彦

山ハ 為鹿眠カ 幽ナリ 同

葉盡無深隱 同

花ハ 香有暗投 同

虚楚訝カ 來客ラ 彦

燈ハ 同

殘書讀未收メ 彦

願春遲薄官カキマ 同

夕トキ 巴

早イツカ 晚入般舟ニ 同

潮漲波砂岸ニ 同

根ニ 同

吹ニ 同

月ニ 從猿叫落ツ 彦

山ハ 為鹿眠カ 幽ナリ 同

葉盡無深隱 同

花ハ 香有暗投 同

虚楚訝カ 來客ラ 彦

燈ハ 同

殘書讀未收メ 彦

靜一_フ中_ニ嫌_フ竹一_フ雪_ラ 同

漁一_フ豎_ニ倚_フ蘆一_フ洲_ニ 同

つまじくはつらん舟はくさくさ 巴

志かこれわくの多る月影 同

西一_フ聲_ニ驚_ク夜一_フ雁_ニ 彦

多のお甲のなるところ大江山 巴

きよしのやうなるくさくさ 同

望_ニ迷_テ何_レ處_ニ求_ム 彦

離一_フ宵_ニ鐘_ニ翳_ル雨_ニ 同

幻一_フ海_ニ卷_キ觀_レ瀕_ラ 同

君くもまじくはくさくさ 巴

くさくさはくのわくさくさ 同

禁一_フ園_ニ嫩_ニ柳_ニ景_ニ 彦

隱一_フ舍_ニ遠_ニ林_ニ雲_ニ 同

枯れはくさくさくさくさ 巴

境_ハ從_リ詩_ニ興_ニ稠_ニ 彦

樵一_フ朋_ニ移_ニ晚_ニ步_ニ 同

夕砂とまじくはくさくさ 巴

吳竹のたけはくかふよふとて 玄仍

香はりのちふはかきひきま 時慶

北一牖寒添被 有

ちもはににきりる花 楊

松もさ梢のかよふとふ物 巴

晚一汀欲繫船 白

皆一山誰盡手 新中

つらりたぐちる乃ら 叱

をひらふ岩不此苔の深なり 心前

樹一陰針耳蟬 秋

涼しやあり春のるなるん 楊

神しそかきふ流のまむ 巴

濺一淚獨一宵一月 白

合一歡一思一露一天 和

とらりるひ中のるけ園やま 昌

雅一席舊一盟一堅 新中

酌一杏一忘一交一淺 秋

そくハ庭よりひくけゆく 心

二

約いふまじり系乃新洲

巴

まのてはくたぬいひるま

楊

雨一餘妨_ク步_一履_ヲ

和

壁一裏得₌遺_一篇_ヲ

白

任_レ指_レ室_ノ戸_行そと_名る_レり

心

幽_一谷_水一潺_一々

秋

飛_一瀑_{洗_二廬_一面_ヲ}

新中

道_をち_りま_れ枝_橋の_一ま_り

昌

神_とや_彩ま_いぬ_まさ_る流_レ

楊

二ッ

ま_らす_みわ_る秋_の夕_風

巴

露_一叢_虫泣_ク玉_二

白

墨_一沼_兔奔_レ箋_二

和

ゆ_りの_消り_まぬ_まれ

巴

雪_一融_竹届_レ賢_二

秋

雪_をれ_神る_やり_をな_わん

昌

ゆ_んさ_動る_虫蝶_の一_片ま

心

花_一謝_楚音_{少_三}

新中

か_ら山_陰の_積り_ます_これ

楊

籬外雪埋断 白

夜闌漏屢遷 新中

待遲灯十一年 昌

話愁鰓户燕 和

宮廢未央柳 心

池深太液蓮 和

霧晴佳境顯 新中

秋暮遠山鮮 白

隣笛共猿弄 和

雷轟崇午眠 秋

霎過添春意 白

心

巴

揚

和

白

心

秋

尋_レ花_ヲ鶯_{不_レ蟄_セ}
別_レ月_ニ鴈_{難_レ連_リ}
秋 白

尤

倭漢聯句

天正十九年
二月廿日

蝶_をよが_ふや_の花_のを_白

春_一城_{競_シ勝_一遊_ヲ}

酌_テ霞_ヲ遲_一日_{速_ク}

望_テ艇_ヲ幾_{回_ラ首_ヲ}

賦_レ詩_ヲ好_テ拔_レ尤_ヲ

月_をよ_りみ_ら送_とか_へて

言_ふを_くま_れる_麻比_孫

西一風村一落冷レ 有和

北一嶺凍一雲浮フ 兼續

中元ハ雪ニまじりて雨の如し 壽忍

くまのしげしげと雨のこぼれ 實頼

嘆もまじりたる枝斗此字の扱 壽三

初一聽テ黃一栗一留 梅印

谷の戸もぬれぬまはるまじ 友益

り乾れとあのみうら川あり 白

漁一唱傳フ湖一信フ 甫

老一懷定ニ隱一謀フ 杏

なごころ心おかしむ世の中 旨

官一爵更ニ無レ求テ 咲

踏テ月ニ進ニ吟一履フ 節

弱くもあつた秋此よりあふ 巴

お坂の雪入るは霧の如く 叱

早行迷ニ谷一幽ニ 和

棧一遙ニ樵一擔ニ倦ニ 續

日はあのをふも送る舟のこ 忍

そまきくはつたつ小やの真頼
雪になりしるるる乃神三

寒一肩 山一宇 聳ユ 印

瀑一韻 夜一絃 伴シ 甫

松風や花のまどとあそむん 白

物けく涼しうそつ月の旨

雨一過 滴リ 如シ 語ガ 杏

新瑞とらしはしんゆんゆる 巴

迎テ 社ヲ 柳ヲ 添レ 緑ヲ 咲

弄シ 春ヲ 杯ヲ 試ム 簫ヲ 節

宿ニ 宿ニ 宿ニ のあけりて 忍

境一佳 興一豈 道ツヤ 印

騷一建 多ク 翫ラ 月ヲ 和

まきけりしれし菊とけり宿 叱

心ふれしをのまもはりむ 旨

書一力 亮一消 愁ヲ 續

よまのけりしをのまもはりむ 巴

愛一閑 煮一茗 甌 咲

黎^{アケヒミ}明^ミ鐘^ネ崇^{タカ}睡^ネ 甫

かきつねよとくさるるふにたむれ 白

かきつねにふとくさるる 三

功^{コト}名^ナ飽^ヘ即^ト休^ム 杏

新年^ニ花^ハ舊^{コト}色^{シロ} 節

かきつねよとくさるるふにたむれ 頼

雅^ヤ蜂^{ハチ}探^テ暖^{ナク}閑^シ 印

喜^キ雀^{セキ}賀^ガ宮^{ミヤ}啾^{シュ} 和

竹^{タケ}左^サ右^{ミダリ}其^{ソノ}耳^{ミミ} 杏

くつり乃小屋此宮のかきつね 巴

以^テ封^ス關^ノ内^ノ侯^ニ 甫

はきつねよのむすむのふりて 白

物舟此つとくさるるふにたむれ 旨

夕宮のふとくさるるふにたむれ 叱

月はかくらふ竹のつし 忍

雲やけり里のふとくさるるふにたむれ 頼

濕^シ裳^カ朝^{アサ}露^{ツキ}稠^キ 節

風^{カゼ}松^{マツ}常^ニ聽^ク雨^{アメ} 續

香^ハ使^ニ夙^一因^ラ修^セ

杏

上共

白 句 有和七

瑶甫八 兼續六

惟杏八 壽忍六

玄旨八 實賴五

西咲八 壽三六

有節七 梅印六

紹巴八 友益一

昌叱八

和漢聯句 天正十九年 卯月廿七日

先

予日まら花の香志る雨如小 玄旨

支^テ枕^ラ聽^ク啼^ク鶻^ラ 西咲

山^ハ自^リ雲^間近^シ 玄圃

とくれとまけいす香地定 紹巴

朝風新くのまよ吹とく 昌叱

秋のふれをちりのこふ法 申巳

行^テ澁^ク歩^ム蟾^一履^ラ 有和

響^ク高^ク驚^ク雁^一絃^ニ 有節

流りよあふこれ命や送るは 旨

をこれとまじりて約いふお 已

溪一嶮幾ク雲一水ツ 節

空橋とけさるはくまは岩 叱

濕一薪キ焦耐タ重キ 圃

けしれよきま風のとらさ 旨

朝を此竹のまはれ月はく 已

向一曉ニ漏一聲ニ遷ル 和

冠一冕ニ欲ス朝下一闕ニ 咲

二
箏一琶更フ滴一泉ヲ 圃

松陰のまわすかよは塔高く 已

惜ニ春ヲ藤一雨ヲ偷フ 甫

うくしよと時やや海よとよ 已

野一外蝶ハ翩ハ一々 節

とよ垣よ福よとよも秋乃色 叱

老一衰在ニ權ハ先ツ 和

羈一身征一袖冷カ 咲

夕げんも月よるうのよと 已

まろく此舟も朽もゆる繩

櫂^三間馬絶^ツ鞭^ツ 甫

遠^一遊常^ニ擁^ス杖^ツ 咲

かろく此神のまろやまろく

ちまは笑花^一まろやまろく

かろくとや^一おろく^一まろく

雙^一卧夜將^ニ曙^ニ 甫

多^一情波入^ル淵^ニ 圃

寵^一恩紗^一却^ニ厚^ニ 節

糝面鏡餘^ニ妍^ニ 和

まろく此舟も朽もゆる繩

まろく此舟も朽もゆる繩

かろくとや^一おろく^一まろく

御^一篝^ニ裏^ニ鷓^一烟^一 節

月^一廊歸^一興逸^ニ 圃

秋^一風^一すく^一小^一秋^一の^一や^一 巳

名
谷川^一の^一まろく^一まろく^一まろく^一 巳

遙^ニ望^ス楓^一錦^一鮮^ニ 咲

睡鴨投閒狎
歸驢扶醉前

玄旨十三 有節十

西咲十 英甫九

玄圃十二 宗巴一

紹巴十三 昌叱十二

由巳十 有和十

倭漢聯句

天正十九年
十二月九日

冬の流るる水此れ白

上春流不寒 由巳

溪邊梅漸色 長坐西咲

垣外竹まじりて

里をまじりて

舟一つもはる

斜月弄蘆笛 有節

新涼立翠欄 紹宥

向山 炆氣 蓄 菊齡

雲よこしける市にわさる

晴ぬる流るや又時句ん 友益

風をゆきしに吹きまゝに 白

旅枕夢何續 由

雅筵興未闌 咲

分りし心とわづらひて 巴

まらぬはいらまは招き 以

月くた雲は言を乃夕庭 叱

春月雨 珊一々 節

柳蔭風 將動 宥

花邊道 忘難 菊

かつさやうらのりしるまの道 仍

梯雲 雲若干 由

ゆれおの浮やいりたおれん 白

おはもあふ松のまじりて 巴

除鶴絶 交一友 咲

ゆれとあらしの人のを 昌

くもれもやうけては世もくまひ

水一雲常耐觀ナリ 宥

陰一廊僧曳履ヲ 節

峰一聳映西月ニ 仍

旁に小くは山も始まら

林一缺報ニ呦一鹿ヲ 由

池一深産ニ巨一鰻ヲ 咲

あけはる甲申の辰合

巴

二少 栢ニれニはるのニりニ 以

苔一茂覺ニ楚ニ少ニ 宥

蔡一長課一讀ニ残ニ 菊

多枕の絲やけられたるの目 昌

隻一夜恨一多一端 咲

あけはる甲申の辰合

れニらニはるのニりニ 巴

あけはる甲申の辰合

小一車轟ニ地ニ嘩ニ 節

けし神もさうはかた神系
以

秋社雨初乾
由

月上鏡如珠
咲

多々々々々々々々々々
昌

昔也れハ花の香吹れ去るの馬
巴

隔霞歸艇沈
節

聲遥季尾雁
由

徒接正邪
咲

磬近知烟寺
菊

あさささささこれ竹のり
白

堂ふき杯のさう竹の物
昌

かひふのうはる川水
仍

船ハキキ船ハキキ船ハキキ
巴

客露宿風食
由

持戸砧添怨
節

絡々々々々々々々々々
以

起居情不穩
咲

ささささ中ぬつと苦
昌

白

世一治^テ國平一安 宥

仍^ニ 仍

禁一闕^ハ幾^ク衣一冠 咲

仍

昌

以

節

菊

霜自^ニ鬢^ニ天^一早^シ

寤^一寐^ニ思^ニ無^シ殫^ニ

仍

昌

以

咲

仍

宥

白

白

農^一暮^テ月^一從^フ我^ニ 由

昌

巴

宥

咲

以

白

巴

作^ス舞^ヲ風^ノ前^ニ馬^ヲ 節

現^レ祥^ヲ雲^ノ際^ニ鸞^ノ 咲

聖^ノ清^ク無^ク若^ク竹^ノ 菊

か^レこ^ノ人^ノの^ここ^ノ 仍

真^ニ隱^ク厭^フ山^ノ淺^キ 宥

け^レこ^ノ人^ノの^ここ^ノ 叱

夜^ノ泊^ル舟^ノ宜^ク繫^ク 由

ゆ^レも^レこ^ノ人^ノの^ここ^ノ 以

暮^レれ^ルの^ここ^ノ 巴

壁^ノ門^ノ虫^ノ助^ク咲 節

そ^レも^レこ^ノ人^ノの^ここ^ノ 仍

勝^ル遊^ル屢^ク入^ル戀^ニ 咲

ち^レれ^ルの^ここ^ノ 叱

霞^ノ外^ニ驅^ル吟^ム鞍^ヲ 菊

こ^ノこ^ノ人^ノの^ここ^ノ 以

空^ノの^ここ^ノ 巴

擔^ノ頭^ノ樵^ノ束^ヲ濕^ク 節

こ^ノこ^ノ人^ノの^ここ^ノ 白

畋^{カリ}獵^ニ愛^ス鷹^ノ俊^ト

宥

相^レ逢^テ喫^ス鳳^ノ團^ヲ

巴

和漢聯句

文祿四年
正月廿六日

凡^ク志^キ一^ク意^ノ人^ハ此^ノ松^乃松^白

雪^融溪^水流^ル

有節

落^波歸^雁影

南化

あ^ハ此^ノ系^ノ一^ク力^ノま^まま

法^字玄旨

夕^夕寄^ハは^ハ不^不不^不不^不

日^野大納言

形^よま^まと^とお^おお^おの^の高

紹巴

隔^レ箔^ヲ竹^ニ涼^キ色^{アリ}

刷^レ衣^ヲ粉^キ晝^一遊^ヲ

英甫

月影も文ゆけりなほまはれ波 白

遠海もつれ荒すまゆ 仍

霧消峰競秀 雲

いづかきもれ末のうけし 巴

定極とありきもれけし 旨

神傷奈杜愁 化

蒙塵唐易晚 化

憶昔晋成丘 圃

いづかきもれ末のうけし 大納

あまもれもゆきまふし 敏

あひ雨はは甲のほせは 仍

いづかきもれ末のうけし 旨

雲狂非月咎 圃

いづかきもれ末のうけし 白

花信書無返 圃

いづかきもれ末のうけし 巴

逐暄窓晒背 印

いづかきもれ末のうけし 仍

名

細川多_シ德澤_ニ 化

百丈有_リ靈湫_一 印

白十句 梅印七

有節一 集雲六

南化九 景敏七

法印 玄旨十 賢好二

日野 大納言九 紹巴十

玄圃十 英甫十

玄仍九

東

和漢聯句 慶長三年 三月九日

とけしえはやぶ乃山はくく 白

帶_テ雨_ヲ 柳_一 偏_ニ 東_ス 梅印

檐_一 外_ニ 燕_一 新_ニ 語_ル 玄圃

あちやうしん 海門乃くく 紹巴

田向り多し 日野 大納言

秋風くく 妙法のうきさよ 玄旨

露_一 冷_シ 敗_レ 荷_一 倒_ル 英甫

午_一 間_カ 佳_シ 茗_一 濃_ク 集雲

酔酒の夜まばあ子、侍ひて

叱

詩一席興無窮

廣橋
大納言

こす抄と巻とれり山らしき

有内管

清妙なる雪乃あけの

玄仍

堂此か遠くは吹出く

景敏

けのまにうけの糸

清原
賢好

愛花忘巷陋

印

らうよむりく極なるこ

白

又ま乃はかたよはる水

巴

雲晴月正中

圃

水車も浪もくやわん

旨

まうれよあふあれもの

日野
大納

愁艸宿根幾

雲

胸一荊澤一蒂同

甫

案一頭寧捨卷

廣橋
大納

アムレははけりわんまら

叱

うこはるよ圃もたきより

仍

とらぬもれさうよ後の園

右米

人々をばらばらとていふこと

敏

慰寂聴松風

印

霜後林將色

白

秋乃ひくはれいこのふれ山

巴

踏月曉行路

甫

少ふわらふこといふふらふ

旨

説恨夢魂脆

圃

寄啼艶語通

雲

多きこといふこといふこといふこと

日野
大納

ニッ

よはまらうとていふこといふこと

白

うらぐのふれこといふこと

旨

日温水愈融

廣橋
大納

他人のこゝろをいふこと

叱

曆端祝歳豊

圃

伊はれをいふこといふこと

右兼

湯内苑驪宮

甫

留跡鳥浮履

印

思歸鵬謝籠

雲

古きもの程もさうして月と云は

そなたさうしてさうしてさうして

孤一枕覺_フ秋一夜_ヲ 白 仍

いさよーかゝるさうさうさうさう

ふむかひにさうさうさうさうさう

くらく老木の栴_サけさやと 此 野 大納

春一雨_ニ鶯一行_キ吟_ス 雲

今もは凡_ニ乃_ニさうさうさうさう

薄暮巖一栖 關_{ナリ} 廣橋 大納

水端をり井_ノれさう乃_ニ松の戸 叱

喜_ス道一友_ヲ鹿一鹿 圃

適_ス來一賓_ニ雁一鴻 甫

月_ノさうさうさうさうさうさう 仍

みさうはさうさうさうさうさう 右集

ほえく_ニ秋乃_ニ節_ノ凡_ノ吹_ルあり 日野 大納

陰よけら_ニく_ニれ_ニり_ノの本_ニさう 巳

夕_ノくさ_ニい_ニさ_ニる_ニなり_ニく 敏

歸_{ラセ}歟_ニ笛_ヲ牧_ニ童_ノ 白

里かろく麻れつひと花し
敏

田つ乃其れやうよれふ比
右赤

斜照水酒影
白

督郵社治聾
中

とよよひのすのほしうに
仍

踈慵鈍可龔
圃

るらやむれまもわられて
巴

常あけらるる空乃と人
台

こころはらるるをれあうにて
叱

雨洒淚猶汎
甫

話舊惜宵短
廣橋

期春任臘終
雲

筆從呵硯試
印

うしあこれ物難波はれ
敏

林さう年やの事は花
旨

子しにしくい法れ
仍

緩歩忘歸計
圃

子聲知戰攻
白

そりしきりけきたさるる内 右集

漁一舟夜掩篷 甫

白九句 梅印七句

廣橋

大納言六句 玄圃九句

右衛門督七句 紹巴八

日野 大納言七 玄仍七

清原

賢好一 玄旨八

英甫八 集雲八

昌叱八

倭漢聯句

慶長十八年 九月廿三日

支

菊の色よきまきくし秋は 八全

霧一晴蝶繞離 有節

露一繁庭誤雨 集雲

風一度月漂猗 友齋

いさよまきくし秋は

いさよまきくし秋は 近衛 准后

いさよまきくし秋は 實顯

叢一生涯竹猗 古澗

夜くよの山乃時を

月影とに奥れ若の戸

くよのつらなる松垣

くよのつらなる松垣

失_レ跡_ヲ抽_リ誇_リ走_ニ

話_テ情_ヲ駒_易移_リ

遇_レ逢_テ愁_ニ別_レ促_ニ

香_ハ為_ニ反_ニ魂_ノ炷_ヲ

隆

頭

准

勝

澗

良

節

林_ノ寺_ノ霧_ノ朝_ノ暮_ノ神

林_ノ寺_ノ霧_ノ朝_ノ暮_ノ竹

内_ノ大_ノ准

内_ノ大_ノ准

頭

旅_ノ客_ノ待_ツ郷_ノ信_ヲ

報_ノ舊_ノ知

永_レも_レた_レ行_ハ心_ハ下

乘_レ暖_ニ幾_ノ題_ス詩_ヲ

良

澗

頭

内

准

竹

節

年城くみくみひゆふふ 准

露れくつひ神のまかり 内大

あく比中ひわられ嘆堂 隆

牧忙野水涯 勝

笛從村暮咽

枕到曉天歌

虚席欠伸幾 良

月夜くまに忘れ得人 准

秋霖多滴恨

露よきまにひらけあふ

あきやまのまにまに流るし 内大

こえひりふとくふ落波根 隆

夕霽鐘 冥自 竹

雪窓篇学而 澗

鳳分名翼孔 節

あまのこの國よあふとせや 准

あれまの心くく乃母のこ 頭

雙鬢歎霜斯 良

三
まのゆゑに位やたつて人

得レ寵採一薪施一 澗

屨響寧違一約一 勝

鏡清堪愧一衰一 竹

毛一と一つ一み一ら一り一さ一る一こ一こ一 准

流一穩艇浮一池一 節

存一ひ一ろ一と一ふ一ら一ひ一風一さ一く一 内大

本一地一り一は一る一月一の一ま一き一ら一

ち一も一や一入一り一の一ほ一れ一秋一さ一り一 隆

馬一と一く一し一て一ま一ふ一 旁 頭

老一眼愈添一昏一 澗

妾一心難脱一羈一 勝

切一り一し一子一に一う一さ一し一つ一と一 准

斷一腸青嶂一嶺 竹

花一無遐邇一境 節

柳一植短長一堤 澗

雨一と一ら一ぬ一あ一り一の一ま一や一と一ん

あ一ら一と一ひ一さ一り一志一の一お一ろ一 准

隆

雅宴幾揚^ク扈^キ

御製十一句 實頭朝臣七

内大臣十一 光勝十

近衛准后十二 古礪八

有節十一 元良九

藤長老不二 冬隆七

益長老建二常光院 通村朝臣一

友竹十

倭漢聯句 慶長 十月廿五日

為^冬此^冬以^冬て^冬玉^冬を^冬う^冬ら^冬る^冬楯^冬の^冬れ 式部宮

寒^冬巖^冬獻^冬緑^冬松^冬 南化

浙^冬川^冬乃^冬る^冬と^冬に^冬く^冬く^冬は^冬月^冬情^冬で 照高院

務^冬物^冬系^冬な^冬り^冬は^冬る^冬乃^冬秋^冬風^冬 准后

と^冬と^冬あ^冬く^冬く^冬れ^冬海^冬の^冬舟^冬の^冬と 前奏臣

呼^冬レ^冬友^冬雁^冬確^冬一^冬々 玄圃

雲^冬擁^冬嶺^冬何^冬レ^冬處^冬 有節

路^冬遥^冬山^冬尚^冬重^冬 英甫

御製
後水尾院

少心ぬもろぬうり均のまじき

日野 新納言

かじむあさけよゆるをてり

前侍從中納言 入道

遅一日吟遊幾

西咲

あゝ魚之けきも忠系竹

時慶

侵曉耀庭燎

清原 秀賢

月けうとに九重乃ら

式部 宮

霧簇萬山遠

化

あゝ乃あゝのくろく志のき

あはまのわらうもむらみ

准后

あまのまゝりけのまじき

市 左衛門

淡烟樵寓顯

圃

獨夜客心慵

節

赴寒花顔悴

甫

あまのまゝりけのまじき

日野 新納言

あまのまゝりけのまじき

前侍從 入道

晨昏聽梵鐘

咲

けろくと越へなれ初瀬山

式部 官

楓林種色濃

化

霞のよれりけいなる時雨ん

今ふく月乃のふふ中完

清い心ゆたふれたる時雨ん

詩客偶相逢

清話惜金一刻

艸書聳宇峰

晴窓童勵業

雪より後の日はまじりくさ

吹風のさうひやつてくも保ふ

准后

前左在

圃

節

甫

咲

前侍従
入道

日野
新納

二

あくき移るる園乃くくひん

そらよりそいそれぬ時を

定よ小雨のそくそけり

欄外出雲月

夜寒欲曙缸

約あもりのけはましくらよん

あしはきさきりく波のまこ

鳥軋鷗眠駭

燕安蟻緑醜

准后

前左在

化

咲

日野
新納

圃

節

ふくむしき中れうらぶ

前
左大臣

あふらひしりやわさう

式部
宮

さうまのく乃つさうらん

前侍
入道

恨^ハ千^一我^カ胸^ツ

化

さくくちと花と後ふつら

あまうらやうさう乃さ

准后

三
兒^レ戲^テ喜^フ春^ノ永^ク

咲

民^ノ心^ニ苦^シ歲^ノ凶^ク

甫

道^レ巖^ノ栖^ル谷^ノ飲^ム

有

あされやまよしぬゆひ

式部

ゆのすけしんらん

式

いふもゆくしんらん

日野
新納

まゆまわれまはるのう

前
左大臣

袂^ノ傳^ハ洞^ツ容^ユ

圃

かきくさうらひようは

准后

乘^レ暖^ニ認^ム仙^ノ蹤^ヲ

咲

伴^テ月^ツ興^レ何^ク盡^ス

圃

感^レ種^ヲ涕^タ有^リ從^ム

化

忠のまはすのしんじうきりく

前
左大臣

風と信きりくしこれ

前侍従
入道

三

あつやまのしんじうきりく

准后

竹動誤憧カト

圃

湘雨市皆散ス

甫

かひゆたかゆそれちも

真隱絶塵俗

咲

孝風祭廟宗

節

わくしあつやまのしんじうきりく

前侍従
入道

いけりくしんじうきりく

准后

さゆこれあふはあまふ系

月とふゆさふ乃まじり

かこれあふはあまふ系

日野
新納
式部
宮

村落水溶タリ

欲雨歸帆急カク

甫

如雷戰鼓カク

化

名
しんじうきりく

聖徳及横ヨコ

縦タテ

咲

戸下とぬち此世さふやまをぬ

前侍従 上六一
入道

あつと記つてあはらふ中

准后

いけ好む程よりえさしゆき

日野 新納

ゆらゆらしくはく人乃家

前 左大臣

對^ス卷^ニ古^一今^一

節

志れわらはしくはくはを

我^レ罪^ヲ唯^ク明^ク鏡

咲

同行^ニ此^レ瘦^ク節

圃

景^レ佳^ク忘^ル棧^一嶮^ク

甫

花よ入わさるはくまはわ

式部 宮

吹心唯まの風やまをひん

糸流^ニ遶^リ澗^一綜

化

履^レ氷^ヲ橋^一獨^ク木

名^ク圃

名をわさるは乃中橋

前 左大臣

あはれはくさるはくまはわ

准后

あはれはくさるはくまはわ

地^ハ覺^フ三^一陽^一至^ラ

咲

あはれはくさるはくまはわ

式部 宮

逢花雖不洛

辟橋是譬邛

御製十四句

有節 八

式部卿 宮 八

英甫 七

照高院 准后 十

清原 時慶 一

前 左大臣 九

秀賢 一

日野 新大納言 七

南化 九

入道前侍從 中納言 七

玄圃 九

西咲 十

於專益宅

和漢聯句

元和八年

十一月廿三日

寒

之北のまゝ乃常枝の宮

昌琢

月遅、簾、愈、寒

永喜

凍、鶯、春、近、報

道春

園を乃竹の歌を志し

昌規

雨さす如く涼くをれ

重門

跡よりしるるさ川水

玄陳

波、高、船、不、穩

大圭

旅、遠、枕、無、安

之

文で移細くゆり乃乎 益

擘^テ雲^ヲ月^ヲ出^ツ巒^ニ 意

此^ノ龍^ノ松^ノ礫^ノ硯^ノ

鳴^ク鳳^ノ竹^ノ琅^ノ玕^ノ

電^ノ夕^ノ光^ノ一^ニ新^ニみ^テ 露

風^ノや沙^ノ草^ノ此^ノ處^ノ不^レい^クを 琢

履^ノ斷^テ就^テ荒^ニ徑^ニ 喜

絲^ノ輕^ク垂^ル釣^ノ灘^ノ 春

い^は波^ノの^もも^もい^はつ^く雨^ノ傳^ル 覩

川^ノ以^テ舟^ヲさ^ス末^ニ乃^チ乃^チ乃^チ地^ニ 門

折^ル糸^ノよ^ク友^ノさ^スひ^り田^ノ邊^ノ 陳

僊^ノ村^ノ日^ノ影^ノ 紐^ニ 圭

圍^ノ碁^ノ星^ノ有^リ隕^ニ 之

あ^のふ^くら^うり^の此^ノ世^ノの^あや^さ 益

抱^テ獨^ラ秋^ノ閨^ノ冷^カ 喜

貧^ノ名^ヲ朝^ノ露^ノ乾^ク 意

世^ノノ^あや^さの^あや^さの^あや^さ 琢

又^ハい^はの^あや^さと^くは^らる 覩

指頭先^ツ得^ル月^ヲ 春

舟^ノ一^ノま^のみ^のと^舟を^山 陳

貴^シく^此を^かく^ん漢^の海^の門 門

松^ノ一^ノ暗^ク雪^ノ漫^ク一^ノ之 之

立^テ石^ニ工^夫驚^ル 驚

對^シ盃^ニ足^レ偶^ニ鸞^ノ意

夕^ノく^あせ^との^いな^れと 益

い^せく^やら^くま^る深^川 琢

媒^ノ曳^ク出^シ書^ク袖^ヲ 喜

儒^ハ峨^ニ進^ニ德^一冠^ヲ 春

賢^けを^舟の^まに^まつ^て 倪

孝^心忘^ル絮^ノ單^ヲ 圭

尔^汝交^リ猶^ヲ親^ク 意

少^くく^ても^奥の^やま^に 門

時^をひ^くの^乃雨^をき 琢

や^く嘆^くか^らか^ら構^へ 倪

石^をひ^く新^れを^凡吹^入く 陳

水^の回^るに^時を^月新^し 益

春^ス犯^ス幽^一人^ノ耳^ヲ 春

と^クお^もす^くし^とく^く秋^ノお^もす^く 珠

石^ノも^も水^ノも^も川^ノも^もい^ふり^のり^り 門

橋^ハ危^ク行^ク路^一難^シ 圭

華^一浮^テ波^ニ有^リ色 喜

柳^一裊^ク露^ニ無^ク瘢^{アリ} 春

蝶^々の^の羽^ハ吹^テ極^メ不^レ比^レぬ^やと^り 琢

春^一遊^ク吟^ク杖^一寛^シ 意

持^人や^おも^すく^く記^して^おも^すく^くん 益

山^一杏^一霧^中看^ル 喜

く^くの^の栢^ハ何^レお^もす^く 陳

松^一い^まい^まい^ま入^リ冷^シ 倪

月^とは^は秋^ノの^時白^クし^り地^ニ 門

探^テ景^ヲ屢^ク憑^ル欄^ニ 之

層^一閣^一常^ニ消^ス夏^ヲ 圭

戦^一場^一本^ト築^ク壇^ヲ 春

當^ル千^ニ三^一架^ノ信^ト 喜

過^ッ世^ヲ二^一毛^ノ潘^ト 喜

侍_ニ立_テ侍_ル車_ニ比_シ流_ル一_ノ球

こ_ノら_ニ比_シ流_ルけ_レを_ケ神_ノ陳

妓_ノ爐_ニ香_ニ満_ツ座_ニ春

あ_ノも_ノ小_ノら_ノ小_ノさ_ノを_ケ梅_ノ枝_ノ門

凡_トさ_シさ_シさ_シさ_シさ_シ菊_ノ邊_ニ見

波_ノさ_ノへ_ノは_ノる_ノ大_ノは_ノの_ノ比_シ琢

瀑_ノ音_ニ溪_ニ互_ニ答_ラ意

塵_ノ垢_ノ市_ノ相_ニ懽_ラ主

酌_ルる_ノ酒_ノの_ノを_ケし_ノく_ノ小_ノ益

晤_ノ言_ニ到_ル夜_ノ闌_ニ喜

思_ハふ_ノら_レ衣_ノく_ノあ_ノ月_ノの_ノ下_ニ陳

舍_ノ諸_ノ班_ノ女_ノ純_ニ春

君_ノ恩_ニ纒_ニ墜_ル露_ノ之

花_ノら_ノえ_ノ好_ク如_ク神_ノの_ノ名_ノ見

さ_ノ不_レ好_クの_ノり_ノは_ノや_ノ宿_ニ此_ノ宿_ニ名

惜_ニ春_ノ夕_ノ日_ノ残_ニ喜

跨_テ風_ノ鯨_ニ飲_ム李_ノ春

神_ノさ_シし_ノし_ノ波_ノの_ノ海_ノく_ノ益

雪江漁、荷笠、喜

關路客、鞭鞍、之

海客思、門

山、珠

清、見

掃眉、號與、春

禁庭、令色、柳、圭

雨晴、陳

雪、珠

風、細起、微瀾、意

松、益

品、評彼、風團、喜

心、陳

深、門

隱、山、迎水、送、喜

谷、珠

雷、齊、翠、嵐、漏、意

世、倪

燕
采
華
如
舞

鳩
盃
杏
合
歡

主 春

上
六

ら
七

